

女性の地位に関するさまざまな経験と思いが、男女共同参画に関わることになったきっかけです。私自身も、中学生の時に、当時の担任から「女は代表になれない」と言われました。「女だからダメ」という考えに納得できず、以来、「女性の立場」について真剣に考えるように。

子育て中に女性差別撤廃条約について学ぶ機会があり、このモヤモヤした思いは、私だけが考え過ぎているのではなく世界共通の問題だと気づき、もっと学びたいと強く思い、勉強を始めました。その後、東京都豊島区男女平等推進センターの相談員となり、また、埼玉県男女共同参画推進センターの立ち上げにも関わりました。一人暮らしの母が心配で盛岡に戻った頃、NPO法人を立ち上げて男女共同参画を推進したいという思いを持った人たちから声を掛けられ、平成17年にNPO参画プランニング・いわての設立に携わり、18年からもりおか女性センターの指定管理者として男女共同参画に関わってきました。

さまざまな理由でつらい思いをしている人が1歩でも前に歩み出していけるよう、これからも同女性センターが核となり、情報を発信し続けたいです。大切な古里・盛岡で、誰もが暮らしやすい社会づくりの力になれたらうれしいですね。



男性も女性も
生きやすい社会に——

写真deもりおか



6 23・24 コンバインドジャパン カップ盛岡2018を開催

国内初となる、スポーツクライミング第1回コンバインドジャパンカップ盛岡2018が、県営運動公園（みたけ一）などで開かれました。伊藤ふたばさん（盛岡中央高1年）をはじめ、国内のトップ選手38人が参加。スピードとリード、ボルダリングの3種目が行われ、世界トップレベルの技に、観客からは大きな声援が送られました。



7 8 市立病院デーを開催

市立病院デーを同病院（本宮五）で開催しました。院内施設の公開や健康相談コーナー、脳血管障害の治療に関する特別講演のほか、ユニフォーム着用体験など子どもが楽しめるイベントも。普段触ることのできない手術器具などに実際に触れながら、医療への関心を深めていました。



7 14 ゆかたコンテストを開催

ゆかたコンテストをホットライン肴町で開催しました。参加者の華やかな浴衣姿に、観客からは感嘆のため息も。ミスゆかたのまち盛岡に選ばれた佐々木杏夏^{きょうか}さん（写真右から3番目）は、「浴衣を着ると日本を肌で感じられてうれしい。もっと着こなせるようになりたい。」と笑顔で話しました。

もりけんに挑戦
(9ページに掲載)の答え
① 食道園

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

念仏剣舞は名前からして、静かな踊りかと勝手に思っていました。実際は想像以上に激しい動き！ 一生懸命に踊る姿は本当に素敵でした。（池内）



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。